

# 社会福祉系学会連合ニュース (2015年1月号)

## 1. ご挨拶

日本社会福祉系学会連合会長 副田あけみ

旧年中はお世話になり、ありがとうございました。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉系学会連合の主な活動は、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会への協力、日本の社会福祉系学会の活性化、交流と連携、研究条件向上のための社会的活動などです。東日本大震災以後は、被災地への福祉支援と地域福祉の課題、震災復興のあり方や福祉専門職による支援など、被災者支援や震災復興に関する調査とシンポジウム開催に力を入れてきました。

昨年は9月20日に、東洋大学福祉社会開発研究センターとの共催で、「災害福祉学の構築に向けて——社会的孤立の防止と自立支援——」を東洋大学で開催しました。シンポジストの、菅野道生氏(岩手県立大学社会福祉学部)、菅磨志保氏(関西大学社会安全学部)、山田美代子氏(日本医療社会福祉協会)には、大変充実した報告をしていただきました。

このシンポジウムの報告書は、連合のホームページにアップいたしましたので、ご覧いただければ幸いです。  
([http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/20140920\\_report.pdf](http://jaswas.wdc-jp.com/pdf/20140920_report.pdf))。このシンポジウムやその後のシンポジストのみなさんとの意見交換を通して、災害社会学とは異なる「災害福祉学」の構築も可能という感触を得ました。なお、来年度のシンポジウムにつきましては、次回のニュースレターでお知らせする予定です。

社会福祉系学会連合では、一昨年度から災害福祉アーカイブを創設し、その充実に努めてきました。今のところ、社会福祉研究者による研究成果や実践活動だけではなく、社会学や心理学、教育学等のものもリストアップしています。また、対象年も2011年からではなく、それ以前のものも含めています。2015年1月現在、図書は1984年から2014年までの184冊、論文は1960年から2014年までの166論文、報告書は、1987年から2013年までの70本をリストアップしています。昨年の1月の時点と比べると、図書は約50冊、論文は約30本、報告書は10本増加しています。

災害福祉アーカイブは、現在、文献リストの作成に留まっており、論文や報告書のデータをダウンロードできる仕組みにはなっておりません。今後、これをどのように整備充実させていくか、運営委員を中心に考えていく所存です。みなさまからも、ご意見をいただければ、また、災害福祉に関する文献等のご紹介をいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。(災害福祉アーカイブ連絡先: union-jssw@kokusaibunken.jp)

\*\*\*\*\*

## 2. 日本学術会議・社会福祉学関連分科会の動向

本連合では、日本学術会議における社会福祉学関連分科会の活動を支援しています。本年度は、社会福祉系大学院のあり方に関する分科会報告書『社会福祉系大学院発展のための提案—高度専門職業人養成課程と研究者養成課程の並立をめざして—』の印刷を行い、加盟学会をはじめ社会福祉系大学等の関連機関へ配布いたします。なお、報告書は次のサイトからも閲覧できます。<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-h140930.pdf>

また、昨年の10月1日に日本学術会議第23期会員および連携会員が任命されました。社会学委員会社会福祉学分科会の構成メンバーは以下のとおりです。

【社会学委員会 社会福祉学分科会委員】

2014年11月承認

氏名	所属・職名	備考	親委員会委員
岩崎晋也	法政大学現代福祉学部教授	第一部会員	○
岩間伸之	大阪市立大学大学院生活科学研究科教	連携会員	
金子光一	東洋大学社会学部教授	連携会員	
白澤政和	桜美林大学大学院老年学研究科教	連携会員	
須田木綿子	東洋大学社会学部教授	連携会員	
住居広士	県立広島大学大学院保健福祉学専攻教授	連携会員	
直井道子	桜美林大学大学院老年学研究科特任教授	連携会員	
中野いく子	東海大学前教授	連携会員	
中野敏子	明治学院大学社会学部社会福祉学科教授	連携会員	
二木立	日本福祉大学学長	連携会員	
野口定久	日本福祉大学社会福祉学部教授・大学院委員長	連携会員	
原田正樹	日本福祉大学学長補佐	連携会員	
平岡公一	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教	連携会員	
牧里每治	関西学院大学人間福祉学部教授	連携会員	
湯澤直美	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授	連携会員	
和気純子	首都大学東京大学院人文科学研究科教	連携会員	

\*\*\*\*\*

### 3. 加盟学会の2015年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の2015年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合のHPに掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

【2015年度 加盟学会大会日程】

学会	日程	開催場所
社会事業史学会	5.9(土)–10(日)	愛知県立大学
日本医療社会福祉学会	9.12(土)–13(日)	日本女子大学
日本介護福祉学会	9.26(土)–27(日)	金沢文化ホール
日本家族研究・家族療法学会	9.4(金)–6(日)	日本女子大学
日本看護福祉学会	7.4(土)–5(日)	産業医科大学
日本キリスト教社会福祉学会	6.26(金)–27(土)	金城学院大学
日本子ども家庭福祉学会	6.6(土)–7(日)	関西学院大学
日本在宅ケア学会	7.18(土)–19(日)	一橋大学
日本社会福祉学会	9.19(土)–20(日)	久留米大学
日本司法福祉学会	8.8(土)–9(日)	早稲田大学
日本社会福祉教育学会	8.22(土)–23(日)	東北公益文科大学
日本社会分析学会	夏の大会(129回) 8.29(火)–30(水)	長崎国際大学
	冬の大会(130回) 2015.12月	
日本職業リハビリテーション学会	8.28(金)–29(土)	大妻女子大学多摩キャンパス
日本精神障害者リハビリテーション学会	12.3(木)–5(土)	高知市文化プラザかるぽーと
日本ソーシャルワーク学会	7.18(土)–19(日)	日本社会事業大学
日本地域福祉学会	6.20(土)–21(日)	東北福祉大学
日本福祉教育・ボランティア学習学会	11.14(土)–15(日)	山口県立大学
日本福祉文化学会	10.24(土)–25(日)	兵庫県社会福祉センター
日本仏教社会福祉学会	10.9(金)–11(日)	淑徳大学
日本保健福祉学会	10.3(土)	同志社大学

\*\*\*\*\*

4. 加盟学会紹介(日本キリスト教社会福祉学会／日本社会福祉教育学会)

社会福祉系学会には現在20の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、2014年10月から新たに運営委員を担当していただいている秋山智久氏(日本キリスト教社会福祉学会)と保正友子氏(日本社会福祉教育学会)にそれぞれの所属学会について紹介していただきます。

●日本キリスト教社会福祉学会●

秋山智久 (日本キリスト教社会福祉学会常任理事)

「日本キリスト教社会福祉学会の歴史・理念・活動・現在」

## 1 創設と理念

日本基督教社会福祉学会は1960年11月1日に大阪クリスチャン・センターにおいて設立総会が持たれた。初代会長は竹内愛二(関西学院大学)であった。その設立趣意書には、学会の目指す目的として、研究教育と福祉実践との連携、キリスト教会・団体との協同、キリスト教と社会福祉学の関係の研究などが謳われている。また、学会規約には次のような目的が記されている。

「本会は基督教の福音に基いて、社会福祉の科学的研究と実践を促進し、以って広く社会福祉の発展に寄与することを目的とする」(第3条・目的)。

また、その事業内容としては、「1. 研究調査事業、2. 研究会講演会その他の集会の開催、3. 機関誌その他の刊行物の発行、4. 基督社会事業者の訓練・養成事業の援助、5. 内外同種団体との連絡協同、6. その他本会の目的達成に必要なまたは望ましいと思われる事業」(第4条・事業)が掲げられている。

1999年、漢字の「基督教」はプロテスタントに偏った感じがあるとの理由から「日本キリスト教社会福祉学会」というカタカナ表記に変更された。

## 2 事業内容

その事業内容としては、「1. 研究調査事業、2. 研究会講演会その他の集会の開催、3. 機関誌その他の刊行物の発行、4. 基督社会事業者の訓練・養成事業の援助、5. 内外同種団体との連絡協同、6. その他本会の目的達成に必要なまたは望ましいと思われる事業」(第4条・事業)が掲げられている。

なお1999年、漢字の「基督教」はカトリックに偏った感じがあるとの理由から「日本キリスト教社会福祉学会」というカタカナ表記に変更された。

「21世紀キリスト教社会福祉実践会議」は、事業の5. の連絡協同の具体的事業として、1997.7より、我が国の主要なキリスト教社会福祉の団体が年1回代表者会議を、2年に1回、合同の会議を開催して、キリスト教社会福祉実践の主要な課題について、講演・シンポジウムなどを持っている。

「韓国キリスト教社会福祉学会」とは学問的交流を推進して来ていて、毎年、本学会の年次大会には韓国から会長を含む10人前後の会員が参加している。

これらの事業を推進するために、いくつかの委員会を設置して、専門的にその活動に当たっている。

## 3 学会活動

### 1) 会員数

会員数はクリスチャンである正会員とそうでない会友という個人会員と、団体による賛助会員を合わせて、創設時には115(1961.5)であったが、現在では411(2013.3)と3.6倍に増加してきている。

### 2) 学会誌

『キリスト教社会福祉学研究』(カタカナ表記後)は1968年の第1号から2014年の第47号まで発行されている。また、2009年には『日本キリスト教社会福祉学会50年史』が発刊されている。

### 3) 刊行物

学会の20周年記念出版として『キリスト教社会福祉概説』(ミネルヴァ書房、1978)が発刊されて以来、40周年には、『社会福祉実践とキリスト教』(ミネルヴァ書房、1998)

また、最近では『日本キリスト教社会福祉の歴史』(2014.6)など、多くの著作を発刊している。

## 4 年次大会 (年・場所・テーマ)

毎年1回開催されている大会の、第1回大会のテーマは「専門社会事業と福音主義」(1060.11.1:大阪)であった。その後、第55回(宮城学院女子大学:2014.6.20)の「今日におけるキリスト教社会福祉の役割-希望の光が見える新たな社会づくり(3)-」まで、毎年、継続して大会が開催されてきた。

この間の主要なテーマと開催年と場所は次の通りである。

- ・「民間社会事業に占める基督教社会事業の位置」明治学院大学:第7回:1966.11.11。
- ・「基督教社会福祉事業施設の問題-特に職員の資質の向上の問題について-」四国学院大学第11回:1970.11.1。
- ・「キリスト教的価値観と社会福祉実践」東北学院大学:第18回:1977.5.20。
- ・「生と死と一愛における技術とは-生命にまむかう基督教社会福祉の課題」関西学院大学千刈セミナーハウス:第25回:1984.6.8。

- ・「キリスト教社会福祉実践と人権」キリスト教ミード社会館：第 32 回：1991.6.14-15。
- ・「キリスト教社会福祉の公共性と独自性」聖恵授産所：第 33 回：1992.6.12-13。
- ・「千年紀末にーキリスト教社会思想が人類にもたらしたものー」第 41 回：弘前学院大学：2000.6.2-3。
- ・「キリスト教社会福祉の価値と倫理の体系化をめざしてー本学会の使命を問うー」頌栄人間福祉専門学校（神戸東急イン）第 44 回：2003.7.4-5。
- ・「混迷する社会を拓く福祉の源泉ー信仰・希望・愛ー」同志社大学（今出川キャンパス）第 51 回：2010.6.25-26。」

## 5 学会の課題

本学会は常に、キリスト教社会福祉の現代的な課題を対象として研究活動を推進して来ているが、いくつかの課題が残されている。それらの主なものは、1) 学会・教会・実践現場との関係（クリスチャンを現場の送り込むことをしているかなど）、2) 研究会を地方で活発に行うことができるか、3) 会員を増やすことができるか（特に、北海道・四国など）、4) キリスト教社会福祉の独自性を、他の宗教との比較で検証できるか、5) 非クリスチャンを正会員にすることができるか（このことによって、現在、日本学術会議の社会福祉・社会保障関連の参加学会に入会できていない）、などの課題を抱えている。

## ● 日本社会福祉教育学会 ●

保正友子（日本社会福祉教育学会理事）

日本社会福祉教育学会は、2005 年 10 月 31 日に設立された比較的若い学会です。本学会の目的は、社会福祉教育に関する実践及び研究の水準を上げ、教育法・教授法等の開発を行い、また社会福祉教育の関係者間の相互連携を図ることによって、社会福祉教育の発展に寄与することです。本学会の研究対象は「高等教育における社会福祉専門教育」で、200 余名の会員が加入しています。

活動内容は以下のとおりです。①研究大会・総会の開催(8～9 月頃)、②春期研究集会の開催(2～3 月頃)、③課題研究の実施、④ニュースレターの発行、⑤理事会等の開催、⑥関係学会との連携／事業共催。

①研究大会では、この 3 年間、「社会福祉士養成課程の改正について検証する」をメインテーマに掲げ、社会福祉士養成課程の改正を様々な角度から検証してきました。とりわけここ 2 年は合宿形式で、各科目のルーブリック評価の作成を行いました。作成したルーブリック評価はニュースレターで会員に提示し、また意見をもらうことで深めています。

②春季研究集会では、毎年、社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロックとの共催で、その時々トピックについて取り上げ、講演やシンポジウムを行っています。2012 年度は「社会福祉教育研究の多様性と共通基盤をめぐって」、2013 年度は「社会福祉教育研究におけるルーブリック評価の活用」をテーマにしました。2014 年度は「社会福祉学分野の参照基準と今後の社会福祉教育研究の課題(仮題)」がテーマです。

③課題研究とは、会員同士で学会が決めた研究テーマについてグループ研究を行い、その成果を発表するものです。現在のところ、「ソーシャルワーク教育の歴史研究」、「教育評価研究」、「IT を活用した教育」に取り組んでいます。

このように、社会福祉専門教育に広くアプローチしているのが本学会の特徴です。人数が少ない分、小回りがきき、会員同士のネットワークが強いのが利点といえるでしょう。社会福祉教育に携わる人にとって、ご自分のメイン学会の次の学会として、学びの場にさせていただけたらと思います。

関心がある方は、ぜひホームページをご覧ください。<http://jsswe.org/>





第9回研究大会でのルーブリック作成の様子



作成したルーブリックを共有

\*\*\*\*\*

### 5. 事務局移転のお知らせ

2014年4月より、事務局が移転しています。連絡先は以下のとおりです。今後とも、本学会連合の活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本社会福祉系学会連合事務局  
 日本社会福祉学会事務局内  
 〒162-0801  
 東京都新宿区山吹町358-5  
 アカデミーセンター  
 TEL:03(5937)0047 FAX:03(3368)2822  
 Mai: union-jssw@kokusaibunken.jp  
<http://jaswas.wdc-jp.com>

#### 加盟学会一覧

社会事業史学会 日本医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族研究・家族療法学会  
 日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会  
 日本在宅ケア学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会  
 日本ソーシャルワーク学会 日本社会分析学会 日本職業リハビリテーション学会  
 日本地域福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉文化学会  
 日本仏教社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本司法福祉学会  
 日本精神障害者リハビリテーション学会